

映像ナラティブ・ワークショップ

京都大学グローバル COE プログラム主催

「心が活きる教育のための国際拠点」

日 時： 2008 年 6 月 25 日(水) 13 時－18 時

場 所： 京都大学 芝蘭会館 研修室

(〒606-8302 京都市左京区吉田牛ノ宮町 11-1)

<http://www.shirankai.or.jp/facilities/access/index.html>

◆講演者 高橋 正実 氏

(ノースイースタン イリノイ大学・准教授)

◆ワークショップ題目

第一部) 沖縄長寿ドキュメンタリー質的研究としての製作過程

第二部) 実習 (映像コンテの発想)

第三部) 元予科練生の回想 (*Last Kamikaze*)

[ワークショップ内容 (三部構成)]

これまで質的研究は主に音声記録に頼ってきたが、近年、その手法に映像を取り入れる例が多く見られる。そこでこの3部構成のWSでは「質的研究」と「ドキュメンタリー製作」の相違点について具体例を挙げながら検討していく。第一部では沖縄の長寿をドキュメンタリー化した短編を例に取り、研究費と制作費の違いや、文献発表とマーケティングの違い等を取り上げる。第二部では参加者が実際に自分の研究課題に関する簡単な絵コンテをつくり、映像録音と音声録音の違いに注目する。第三部では元特攻隊員たちの回想を綴ったドキュメンタリーの内容と、研究結果について考察する。

企画者：やまだようこ (京都大学大学院教育学研究科)

参加希望者は予約して下さい (先着 25 名)。

予約先：develop@www.educ.kyoto-u.ac.jp

主催：京都大学グローバルCOEプロジェクト

「心が活きるフィールド教育と生涯発達のサポートとシステム」

共催：科学研究費プロジェクト

「多文化横断ナラティブ・フィールドワークによる臨床支援と対話教育法の開発」